※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　地理歴史・公民科

教科	公民	科目	時事問題研究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	日本ニュース時事能力検定協会「ニュース検定　公式テスト＆問題集　３・４級」（毎日新聞出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■少人数の授業です。積極的に発言してください。正解か不正解も大事ですが、授業に参加することが大事です。自分の考えていることを発言し、他人の考えたことを聞き、さらに自分の考察を深めてください。
■時事問題を扱います。毎日必ず日本と世界のニュースに触れてください。新聞、テレビ、ラジオ、ネットニュース等々、なんでもかまいません。リアルタイムで社会と繋がってください。
■本を読んでください。学校図書館を活用してください。活字から知識を得る技術を会得しましょう。おすすめしたいのは歴史マンガです。学校図書館に全巻揃っています。「世界の歴史」「中国の歴史」「日本の歴史」シリーズを通読してほしい。歴史の知識は、時事問題を理解するうえで必須の教養です。常時、本を読んでいる学生になってください。
■ノートを必ず準備してください。板書を書き写す、配布したプリントを整理して貼ることは必須です。そしてノートに書き込み（メモ）をしてください。特に授業内容から思った感想や、疑問、そして授業内容を自分なりにまとめることができると良いです。

２　学習の到達目標

１，NHK ニュースを観て、世界の諸問題の放映内容を理解できるようにする。時事問題に関して岩波や講談社、中公など新書を読み、内容を理解することができるようにする。
２，時事問題に関して、その事案の歴史的な経緯、背景、世界への影響、今後の見込みを予測することができる。自分の考察したこと、構想を説明することができ、またこのことに関して、他社と議論して、さらに見解を深められるようにする力を養う。
３，時事問題に関して、自分で研究テーマを決めて、資料を集め、分析して、まとめて小論文を作成することができる。ニュース検定３・４級、いずれかに合格する。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	時事問題に関する諸事象に関して、世界の歴史的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに、新聞やニュース、ラジオ、インターネット、書籍等の情報システムなどを用いて、調査や諸資料から時事問題に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	時事問題に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、相互依存作用、地域などに着目して、系統的、歴史的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、時事問題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	時事問題に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	現在の世界情勢と欧米近現代史	現在の世界情勢と欧米近現代史(20 世紀の歴史)	a:G20、BRICｓなど世界をリードする国々について、それぞれの国のリーダー名や政治体制などの特徴を理解している。ウクライナ情勢などを歴史的、文化的、経済的、政治的など様々な局面から分析し、理解している。20 世紀の歴史を２つの戦争を軸にして大まかな流れを理解し、現在の世界情勢との繋がり、連続性を理解している。 b:世界情勢に関して、一般論を理解した上で、自分なりに考察し、自分の考えを論理的に説明できる。又は仮説をたてることができる。 c:学習内容に関して疑問に思ったことなどを書籍や新聞、ネット情報などの公開情報にあたり、主体的に自分なりの解を主体的追求しようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(論述問題) ・レポート課題 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

		第 2 次世界大戦後から現在に至る歴史	a:第 2 次世界大戦後の国際情勢に関して米ソの冷戦対立の構造を理解することができる。米ソに追随しない第三世界が存在した理由を考え、理解することができる。冷戦後の世界が平和とは遠い、より複雑化していった経緯やその背景を歴史的、文化的、政治的、経済的など、様々な側面から理解するために公開資料にあたり、自分なりの解を導き出すことができる。 b: 第２次世界大戦後、冷戦終結後の世界情勢に関して、一般論を理解した上で、自分なりに考察し、自分の考えを論理的に説明できる。または仮説をたてることができる。 c: 学習内容に関して疑問に思ったことなどを書籍や新聞、ネット情報などの公開情報にあたり、主体的に自分なりの解を主体的追求しようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(論述問題) ・レポート課題 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・学習の振り返り
二学期	ニュース検定 政治・経済	私たちの民主主義 日本国憲法の行方 外交と安全保障の課題 足踏みする日本経済 どうなる日本産業	a:それぞれの学習内容における重要語句を正しく記憶し、その語句の意味や背景までを論理的に記述、または説明できること。 b:それぞれの学習内容に関して、一般論を理解した上で、自分なりに考察し、自分の考えを論理的に説明できる。または仮説をたてることができる。 c: 学習内容に関して疑問に思ったことなどを書籍や新聞、ネット情報などの公開情報にあたり、主体的に自分なりの解を主体的追求しようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(論述問題) ・レポート課題 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

	ニュース検定　経済・暮らし	世界経済の見通し これからのエネルギー 減り続ける日本の人口 社会保障のこれから 働き、消費する私たち	a:　それぞれの学習内容における重要語句を正しく記憶し、その語句の意味や背景までを論理的に記述、または説明できること。 b:それぞれの学習内容に関して、一般論を理解した上で、自分なりに考察し、自分の考えを論理的に説明できる。または仮説をたてることができる。 c:　学習内容に関して疑問に思ったことなどを書籍や新聞、ネット情報などの公開情報にあたり、主体的に自分なりの解を主体的追求しようとしている。	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(論述問題) ・レポート課題 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・学習の振り返り
三学期	ニュース検定　社会・環境	子どもを取り巻く環境 共生社会への道のり 情報社会はどこへ行く	a:　それぞれの学習内容における重要語句を正しく記憶し、その語句の意味や背景までを論理的に記述、または説明できること。 b:それぞれの学習内容に関して、一般論を理解した上で、自分なりに考察し、自分の考えを論理的に説明できる。または仮説をたてることができる。 c:　学習内容に関して疑問に思ったことなどを書籍や新聞、ネット情報などの公開情報にあたり、主体的に自分なりの解を主体的追求しようとしている。 ２月のニュース検定に挑戦する	・定期テスト ・小テスト	・定期テスト(論述問題) ・レポート課題 ・学習の振り返り	・レポート課題 ・学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度